

平成22年度第2回埼玉高速鉄道(株)経営懇話会の概要について

1 日 時 平成23年3月25日(金) 14:00~15:10

2 場 所 埼玉県自治会館 301会議室

3 概 要

(1) 埼玉高速鉄道株式会社経営改革プランに係る県・沿線3市の取組について

- ・ 「経営改革プラン」の計画初年度である平成22年度の年度末にあたり、県・沿線3市の取組状況として、23年度予算の概要及び「埼玉高速鉄道沿線活性化・利用促進に向けた取組」の策定等について、県より説明。
- ・ 主な質疑
 - Q 沿線活性化・利用促進に向けた取組にある「東西軸の強化による駅勢圏の拡大」とは何か。
 - A 路線バスにはJR駅へ接続する南北方向の路線が多いが、バスと埼玉高速鉄道の駅との接続をよくすることで利用者の増進、沿線活性化を図っていききたいとするものである。バス会社へも働きかけていきたい。
 - Q 大震災後の社会経済の状況は厳しいものがあるが、そのような状況の変化も視野に入れながら具体的な取組を進めてもらいたい。
 - A 今回提示した取組は、計画停電等の影響のなかではすぐに実施できる情勢でないこともあり得るので、その時々で見極めながら取り組んでいく。いずれにしても、埼玉高速鉄道を軸として地域が良くなった、活性化したということになるよう取り組んでいきたい。

(2) 埼玉高速鉄道株式会社の経営改善計画の取組状況について

- ・ 会社より、平成22年度に実施した増客・増収の取組状況について説明。
- ・ 主な質疑
 - Q 沿線ガイドマップの配布やイベント情報の掲示などを埼玉高速鉄道沿線だけでなく南北線でも行えば効果があるのではないか。
 - A しらこぼと水上公園の広告等については南北線の後楽園以北でポスター掲示を行っている。また、23年度は安行の盆栽祭りの際に、都心に居住する外国人の方に沿線に来ていただけるよう、南北線と車内広告で連携するほか、観光資源の開発に積極的な川口市とも連携しながら進めたい。
 - Q 埼玉スタジアムはサッカー開催以外では利用できないのか。
 - A 埼玉高速鉄道(株)は開業10周年、埼玉スタジアムも10周年なので、コラボでB級グルメ大会の実施を5月1日に予定している。今後もこのような使い方を埼玉スタジアムに働きかけていきたい。

(3) その他

- Q 損失補償については、他団体でその法的性質を巡り裁判となっているものがあるようだが、どのように考えているか。
 - A 裁判の動向を注視していきたい。